

日本基督教団 西宮公同教会

新年礼拝

2026年1月1日（木、祝）午前11時より

司会：守屋 寛子
当番：二宮百合子

前奏	奏楽者
招詞	ヨハネの黙示録 21章 6節 司会者
主の祈	一 同
交誦文	46 默示録 21章 一 同
讃美歌	24 番 一 同
聖書	ルカによる福音書第4章 16-21節 司会者
祈祷	司会者
説教	「警鐘を鳴らすもの」

管澤 邦明 牧師	
讃美歌 418 番	一 同
献金	一 同
献金感謝	当番
後奏	奏楽者
報告	司会者

《次回礼拝予告》

聖日礼拝

2026年1月4日（日）午前10時45分より
聖書：ルカによる福音書 2章 41-52節
説教：「希望はあるのか」
管澤 邦明 牧師
交誦文：37 イザヤ書 35章
讃美歌：217, 420
司会：児玉 道子
当番：古谷 佳之

人間は生きものであり、自然の一部である。

生き物たちが共存する。街の中の小さな森の一年は、「生きとし生けるものたち」の日々の暮らしの場所だった。
小さなピンクの花が、若緑の葉っぱとなり…、夏が過ぎて、秋になって、実が茶色になるカリん。
葉っぱがまだらに色づく頃、もぎ取り残した柿の実をついばむ、ひよどり。

葉っぱがまだらに色づく頃、もぎ取り残した柿の実をついばむ、ひよどり。

葉っぱがまだらに色づく頃、もぎ取り残した柿の実をついばむ、ひよどり。

庭のどこかに地下の城を構える黒蟻の遠征。

集められた葉っぱを、底の開けられたフレコンバックに忍び込んで土に変えていくミミズたち。

川沿いのプランターのポーチュラカに舞うシジミチョウ。

実になつたしその枝を揺らしてついばむ雀。

欅の巣作りでにらみをきかせていたカラスの子どもは今は一人前にカアカアと鳴いている。

全体が真っ赤に見えるクリスマス・ホーリーの実もある日気がついたら一粒も残っていない。

街の中の小さな森では、秋ごろからほしまつりの背の高い竹の先で緑の旗が揺らいで、新しい年を迎える。

◇1月11日(日)午前10時45分～

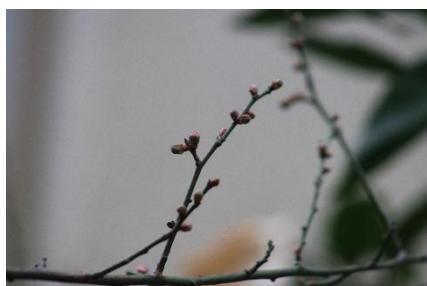
西宮公同教会・教会学校合同
兵庫県南部大地震犠牲者追悼の日記念礼拝
「あれから30年、長くて短い日々でした」
説教：菅澤 邦明 牧師

◇1月17日(土)午前10時～

大地震子ども追悼 井本英子コンサート
場所：アートガレーデ

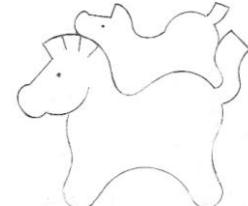
◇1月17日(土)～25日(日)

大地震子ども追悼 藤本栄衛 童子像展
場所：アートガレーデ



明日への祈り

大好きなのは
緑の草原を走り
せせらぎを飛び越え
まぶしくっても
仲間と一緒に
お日さまを
見上げること
うれしいのは
お父さんの背中



(菅澤 邦明)